

ひろしまの 土地改良

2012年
第229号



第10回ひろしまの農村フォトコンテスト テクニカル部門 最優秀賞 (テーマ:新しい農業・農村のちから)
「おいしくたべてね」 森原 泰子 (撮影場所:北広島町大朝)

Contents

広島県土地改良事業団体連合会第54回通常総会

並びに第51回土地改良事業功労者表彰式開催

広島県農業農村整備事業推進協議会第64回通常総会開催

海・山・空 夢ひらくまち

三原市長 五藤 康之

広島県だより

第10回ひろしまの農村フォトコンテスト 入賞・入選作品決定



広島県土地改良事業団体連合会第54回通常総会 並びに第51回土地改良事業功労者表彰式開催



平成24年2月15日（水）午後16時00分から広島市東区の広島ガーデンパレスにおいて、國弘中国四国農政局長、広島県知事代理の富永農林水産局長をはじめとする来賓の方々を迎え、広島県土地改良事業団体連合会第54回通常総会並びに第51回土地改良功労者表彰式が開催されました。

はじめに、第51回土地改良功労者表彰式が行われ、広島県知事表彰1名、広島県土地改良事業団体連合会長表彰19名の方々に、表彰状並びに感謝状が贈られました。（受賞者名簿別掲）

続いて第54回通常総会が開催されました。

開会にあたり、羽田会長が、「農業・農村整備事業に対しては引き続き、厳しい予算となっている中、食料供給力の維持・強化を図るためには、農業の生産基盤や農村環境基盤が必要不可欠であることを十分に認識し、農業・農村の振興と発展を図るため市町、土地改良区の皆様と一層の連携を図りながら、行政を補完する組織としての使命、役割を果たして参りたい」と挨拶を述べられた後、来賓の方々の祝辞をいただきました。

その後、長本憲豊田郡豊町大長土地改良区理事長が議長に任命されて議事に入り、すべての議案が原案通り可決されました。

最後に決議案が全会一致で採択され、閉会しました。



挨拶される羽田会長



挨拶される富永局長

- 第1号議案 平成22年度事業報告及び平成22年度収入支出決算について
- 第2号議案 平成23年度収入支出予算の補正について
- 第3号議案 平成24年度事業計画及び平成24年度収入支出予算について
- 第4号議案 平成24年度賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第5号議案 平成24年度余裕金の預入先の指定について
- 第6号議案 平成24年度役員報酬について
- 第7号議案 役員の補欠選任について

第51回土地改良功労者表彰

「農林水産功労者（農業部門）表彰」は、農林水産功労者・功績者表彰要綱に基づき、土地改良事業に功績のあった方を表彰するものです。

○農林水産功労者（農業部門）表彰の部

荒田 晃 様（三次市土地改良区理事長理事）

平成15年に三次市土地改良区理事長に就任されて今日まで、土地改良区の健全で安定的な運営に取り組み、組合員からの信頼も厚く、平成18年の市内8土地改良区の合併にあたっては市内土地改良区合併推進協議会会長として、諸問題を迅速に解決し合併に導かれました。



表彰される荒田氏

「土地改良事業功労者表彰」は、広島県土地改良事業団体連合会表彰規程に基づく表彰で、今回受賞された方々はつぎのとおりです。

○個人の部

吉田 米治 様（湯来町砂谷土地改良区理事長）

國田 卓男 様（山県郡千代田町土地改良区理事長）

水野 昌子 様（甲田町小原土地改良区事務局員）

國村 理弘 様（三次市土地改良区理事）

瀬尾 富雄 様（比婆郡高野町土地改良区監事）

伊藤 清人 様（福山市土地改良区副理事長）

土江勝太郎 様（東広島市黒瀬町乃美尾土地改良区理事長）

○感謝状の部

岩崎 常雄 様

小林 泰治 様

玉川 敬章 様

津川 誠 様

内藤 隆 様

永井 定 様

永原 博直 様

元風呂俊治 様

横山 拓雄 様

脇所 耕司 様

井居 秀隆 様

○25年永年勤続

横尾 右文 様



受賞者のみなさん

広島県農業農村整備事業推進協議会第64回通常総会開催

平成24年2月15日（水）午後14時30分から広島市東区の広島ガーデンパレスにおいて、広島県農業農村整備事業推進協議会第64回通常総会が開催されました。

はじめに滝口会長が、「農業農村整備事業等の推進を通じて、農業の持続的な発展と農村の持つ多面的機能を発揮できるよう、計画的に着実な農業農村整備事業の推進を図りたい。」と挨拶された後、来賓の



協議会の模様

広島県農林水産局藤本隆文基盤整備部長から祝辞をいただきました。

続いて、小坂安芸太田町長が議長に選任された後、議事に入り、いずれも原案通り可決されました。

第1号議案 平成22年度事業報告及び平成22年度収入支出決算並びに財産目録の承認について

第2号議案 平成24年度事業計画及び平成24年度収入支出予算について

第3号議案 会費及び徴収時期について

第4号議案 総会の議決事項の一部を役員会に委任することについて

第5号議案 役員補欠選任について

最後に農業農村整備事業の促進に向けた決議案が全会一致で採択され、閉会しました。

第53回全国土地改良功労者表彰 農業農村整備優良地区コンクール表彰

平成24年3月27日（火）、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボールで、第53回全国土地改良功労者表彰並びに、農業農村整備優良地区コンクール表彰が行われました。

野中全国水土里ネット会長の式辞、仲野農林水産大臣政務官の祝辞の後、農林水産大臣表彰、農村振興局長表彰、全国水土里ネット会長表彰が行われ、受賞団体および受賞者に賞状と記念品が贈られました。

広島県からは3団体・2名が受賞されました。

○農業農村整備優良地区コンクール表彰(農業生産基盤整備部門)

農林水産大臣賞 農事組合法人聖の郷かわしり
(経営体育成基盤整備事業 川尻地区)

○優良土地改良区表彰

金章 高宮土地改良区
銅章 東広島市吉川土地改良区

○個人表彰

高橋 敬明 様 横山 拓雄 様



農林水産大臣賞を受ける川邊氏



受賞された皆さん 写真右側より、高橋 敬明氏・農事組合法人 聖の郷かわしり 川邊 澄男氏・東広島市吉川土地改良区 大和 重三氏・高宮土地改良区 近藤 一郎氏・横山 拓雄氏

海・山・空 夢ひらくまち

～一人ひとりが輝くまち・幸せを実感できるまち・活力を生み出すまち～



三原市長 **五藤 康之**

●はじめに

三原市は広島県のやや東部に位置し、南部の瀬戸内海沿岸地域と北部の山地・丘陵地域が織りなす多様な自然を有する、総面積約471km²、人口約10万人のまちです。

また、縄文・弥生・古墳時代の遺跡が数多く残されている歴史あるまちです。

古くから交通の要衝として発展してきましたが、合併により広島空港、JR山陽新幹線、山陽本線・呉線、三原港、山陽自動車道、重要港湾尾道糸崎港など、陸・海・空の交通ネットワークに恵まれ、中国・四国地方の交通拠点としての役割を担っています。



瀬戸内海国立公園 ふでがげやま りゅうおうざん
筆影山・竜王山



ぶつうじ
佛通寺

●持続可能な農業の確立

本市農業の特性は、沿岸島しょ部から標高500mの山間部にわたって、水稻、野菜果樹、花き、畜産などそれぞれ地域特性を活かした多彩な農業が営まれています。



北部の田園



北部の畜産施設

北部地域は、畜産と水田農業の割合が高く、南部地域は温暖な気候を活かし、野菜や果樹などの園芸作物の生産が盛んで、わけぎやかんきつなど、代表的な特産物もあります。



南部のわけぎ生産施設



沿岸部のかんきつ

●多様な担い手の育成

集落法人化を促進するため、集落法人連絡協議会や関係機関と連携し、サポート体制を整備し支援策を講じています。現在25法人が約550haを集積し、水田農業の生産性の向上と経営の高度化を図っています。

また、園芸作物の産地強化、拡大を図るため「新規就農者育成研修事業」、「やっさ農業塾」等により農業経営に意欲的に取り組む担い手を確保し、次世代に引継ぐことのできる農業の確立をめざしています。



集落法人による稲の刈取作業



やっさ農業塾の夏野菜の実習



農業体験学習

●農業生産基盤の整備

農業生産活動の維持・発展を図るため、国や県の補助事業を活用しながらほ場整備、かんがい排水事業、水田の汎用化を進めるとともに農産物直売所や学校給食及び市場等へ地元農産物を安定的に供給するため、農産物栽培用ハウス等の設置助成を行っています。



県営 ほ場整備事業 いずみきた 泉北地区



県営 水利施設整備事業 みごう 三河地区

●人々の交流の場 道の駅「みはら神明の里」^{しんめい}

道路利用者に快適な休憩の場を提供するとともに、個性ある地域の文化、歴史、名所、特産物などに関する情報やサービスを提供する施設として、平成24年3月にオープンした道の駅「みはら神明の里」には、農産物や水産物の直売所が設けられ、多くの人々が交流する新たな賑わいの場として期待されています。



みはら神明の里



駅舎内の直売所

●軽トラ朝市

生産者と消費者のつながりの場の創出と地産地消を推進するため、商工会議所と連携し、毎月第2土曜日午前中、三原駅前市民広場で市内の農林水産業者や加工、販売グループにより、三原市産の農産物や海産物、加工品等が販売され、生産者と消費者の交流が広がっています。



軽トラ朝市の様子



朝とりの新鮮野菜

●有害鳥獣対策

イノシシなどの有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、防護柵設置補助や狩猟に関する様々な知識や技術を身につけ、野生動物と共生するための地域、環境づくりに欠かせない人材を育成するため、有害鳥獣対策マイスター講座、集落リーダー養成講座を開催しています。



有害鳥獣対策マイスター講座の受講

●おわりに

今後も、地場産農産物を多くの市民に供給し、地産地消を推進するとともに、都市と農村の相互理解のもとに地域農業の特性を活かし魅力ある農業・農村づくりに努めていきます。

小水力発電などについて

小水力発電などの動向

農林水産省では、平成24～28年度を計画期間とする次期土地改良長期計画（平成24年3月30日閣議決定）で、主な施策の一つに「小水力発電など農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進」が掲げられています。

また、農業水利施設等を活用した小水力発電の整備を促進するための農林水産省の補助事業として、次の事業があります。

事業種類	事業主体	助成の内容・条件
ソフト事業		
小水力等農業水利施設 利活用促進事業	都道府県、市町村、 農協、土地改良区等	・農業水利施設を活用した小水力発電の導入の円滑化を図るため、調査・設計等を支援 ・補助率 定額、1/2
ハード事業		
地域自主戦略交付金のうち 地域用水環境整備事業	都道府県、市町村、 土地改良区等	・土地改良施設、農林水産省の助成対象の農業施設や公的施設等に電力を供給する発電施設を整備 ・地域用水事業計画が作成されていること ・補助率 1/2ほか
農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金のうち 自然・資源活用施設	都道府県、市町村、 農協、土地改良区等	・農林水産業に係る共同利用施設に電力を供給する発電施設を整備 ・活性化計画への位置づけが必要 ・補助率 1/2ほか

(平成23年度末現在)

なお、現状では、小規模な水力発電施設の導入を促進するためには採算性の向上が課題であり、支出と収入の両面での検討が求められています。

支出となる建設コストについては、農林水産省では低コスト化のための調査・実証事業において検討が進められています。

一方、収入の課題である売電価格については、経済産業省において、再生可能エネルギー特別措置法に基づく固定価格買取制度に関して、買取価格と買取期間の検討が進められており、平成24年4月末には結論が出されるようです。

また、他省庁においても小水力発電等の導入を促進するために法令等の改正や手続きの簡素化が進められています。

小水力発電などについての導入支援

このような状況に鑑み、土連においても農業水利施設を活用した小水力発電等の導入について支援して参ります。導入をご検討される場合にはご相談ください。

なお、小水力発電でのおおまかな発電量は、次の概算式で算定できます。

●水のエネルギーを電気エネルギーに変換（概算式）

$$P(\text{kW}) = 9.8 \times H(\text{m}) \times Q(\text{m}^3/\text{s}) \times 0.7$$

ここに、H：有効落差 = h（実落差）× 0.85
（実落差の15%を損失水頭と仮定）

Q：用水量

0.7：水車効率×発電機効率の概算仮定値

算定例：

用水量0.05m³/s（概ね20haの水田の普通期用水量）
で落差が10mの場合の発電量

$$P = 9.8 \times (10 \times 0.85) (\text{m}) \times 0.05 (\text{m}^3/\text{s}) \times 0.7 \approx 3 (\text{kW})$$

低コスト化のための他県での調査・検証例

・低コスト資材による実証

水車羽根に鋼管を使用

・市販鋼管を切断・加工

・水車長を水路幅に合せ工場で切断・可能

導水管にVU管を使用



・発電設備の定規格化による低コスト化の実証

発電機を定規格化し、効率的な組合せで選定、現場に合せて工場で加工

・低コストゴミ対策工法の実証

上流部の水面上のゴミを水車の両端へ導き流下
（全国土地改良事業団体連合会主催 平成23年度小水力発電に関する連絡協議会資料より抜粋編集）



広島県だより

●平成24年度 農業農村整備予算の概要

『2020広島県農林水産業チャレンジプラン』に基づき「産業として自立できる農林水産業の確立」を推進するとともに、「農林地の公益的機能の維持発揮」を図り、農山漁村地域の産業の核となる農林水産業の実現をめざします。

基本姿勢

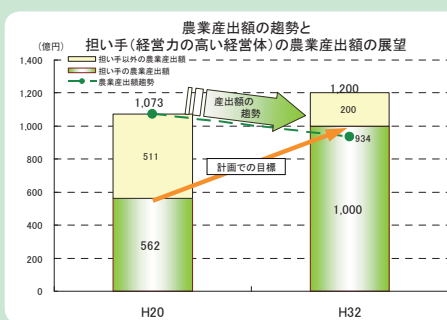
地域起点

選択と集中

協働連携

生産から販売までが一体となった持続的な農業の確立

- ◆人材の確保から就農後の研修までの総合的な支援
- ◆農業経営者等のスキルアップ
- ◆経営発展モデルの確立
- ◆農地集積のさらなる加速
- ◆集落法人設立のさらなる加速
- ◆企業の農業参入のさらなる促進
- ◆重点品目の産地拡大
- ◆広島レモンのブランド化によるかんきつ産地の育成



産業として自立できる農林水産業の確立

農山漁村地域の産業の核となる農林水産業の実現

生産から販売までが一体となった取組による販売力の強化

- ◆生産者と実需者とのコーディネート体制の構築
- ◆海外市場への農水産物等の輸出拡大の支援

農林水産物の販売力の強化

持続的な農業生産活動による農地の効率的な利用と保全

- ◆集落で取り組む鳥獣被害対策に対する総合的な支援
- ◆中山間地域等における自立的・継続的な農業生産体制の整備支援
- ◆農村環境を保全する地域ぐるみの活動支援

農林地の公益的機能の維持発揮

費目	事業	予算額 (単位:千円)		対前年度比
		23年度当初	24年度当初	
農地総務費 	農業農村事業事前調査費	120,765	202,447	167.6
	農業農村事業事前調査費 (単独)	14,235	16,250	114.2
	農業農村整備調査費	13,500	25,500	188.9
	三川ダム管理費	300	300	100.0
	農地・水・環境保全向上対策事業	16,730	16,397	98.0
		76,000	144,000	189.5
		5,858,530	5,656,595	96.6
農村整備事業費 	県営事業	3,429,426	3,830,036	111.7
	かんがい排水事業費	73,501	252,000	342.9
	基幹水利施設補修事業費	80,185	52,468	65.4
	ほ場整備事業費	465,764	528,259	113.4
	農道整備事業費	2,339,438	2,676,066	114.4
	畑地帯総合整備事業費	470,538	321,243	68.3
	団体営事業	1,204,480	804,090	66.8
	かんがい排水事業費 (基幹水利施設管理事業費)	8,255	9,100	110.2
	農村振興総合整備事業費	225,065	193,100	85.8
	農業集落排水事業費	548,665	48,080	8.8
	基盤整備促進事業費	422,495	553,810	131.1
	農村基盤整備推進事業費 (単県)	542,517	474,473	87.5
	ふるさと農道緊急整備事業費 (単県)	43,440	7,173	16.5
	土地改良区等検査指導費	8,548	7,693	90.0
	県営ほ場整備換地処分清算費	31,710	37,110	117.0
土地改良負担金償還対策事業費	5,612	4,867	86.7	
農地整備事業費負担金	400,248	365,159	91.2	
受託工事費	192,549	125,994	65.4	
農地等保全管理事業費 	県営事業	693,719	695,825	100.3
	海岸保全施設整備事業費	492,756	554,183	112.5
	ため池等整備事業費	129,205	168,833	130.7
	ため池等整備事業費	246,623	280,350	113.7
	地すべり対策事業費	116,928	105,000	89.8
	団体営事業	87,330	77,692	89.0
ため池等整備事業費	87,330	77,692	89.0	
海岸保全施設等維持補修費 (単県)	72,143	63,950	88.6	
ため池緊急点検調査事業	41,490	0	皆減	
農林水産施設災害復旧費	過年発生災害農林施設復旧費	2,666,610	2,060,736	77.3
	現年発生災害農林施設復旧費	927,110	321,236	34.6
	現年発生災害農林施設復旧費	1,739,500	1,739,500	100.0
合計		9,339,624	8,625,241	92.4

水田畑地化のすすめ！

～園芸作物導入のために～



田がじりいけえ、
野菜が作れん!!

そんな田んぼをリニューアル!!

広島県では、地域のニーズに合わせ、水田をより効率的に利用するための基盤整備を行っています。

園芸作物の導入には排水条件の改善が必要です!! そのためには

暗渠排水によるキャベツの生育状況の比較



暗渠排水あり



暗渠排水なし

暗渠排水

暗渠排水の有無によって、作物の生育にも大きな差がみられます。

※導入作物によって、排水管の間隔を狭くしたり、深さを浅くすることも可能です。

「農地の困った!」を解決し、収益の高い経営へ

水田を傾斜畑に転換したり、排水路や暗渠排水を施工し畑地化するなど、ほ場のきめこまやかな整備を進めています。



水路を挟んだ4筆に出入り可能な昇降路を設置し、連続作業が可能な畑に改良



本暗渠の設置



補助暗渠の設置

第10回ひろしまの農村フォトコンテスト

テーマ「新しい農業・農村のちから」「水土里あふれる景色」

農村の素晴らしさや、維持・保全の大切さを写真を通して、広く県民のみなさまに伝えてきたひろしまの農村フォトコンテストも、今回で10回目を迎えました。

今年はテーマを「新しい農業・農村のちから」と「水土里あふれる景色」の2つとし、初心者からも気軽に応募いただける「ファミリー部門」を設けました。

初応募の作品も数多く出品されました。ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

●審査会

2月28日（火）、土地改良会館において「ひろしまの農村フォトコンテスト審査会」が開催されました。

今回は総数209点の力作が寄せられ、そのうちテクニカル部門151点について慎重に選考されました。厳選な審査により作品のなかから、テーマごと最優秀賞各1点、優秀賞各1点の計4点が選ばれました。



審査会のようす

審査委員

所 属	氏 名
棚田ネットワーク中国会長	持田 紀治
中国新聞社編集局 中国新聞写真クラブ 読者写真コンテスト担当	大村 博
広島県農林水産局 基盤整備部長	藤本 隆文
広島県土地改良 事業団体連合会副会長	下垣 雅史

●表彰式

3月14日（水）、土地改良会館で「ひろしまの農村フォトコンテスト表彰式」が開催されました。

下垣会長より賞状と副賞が受賞者に手渡され、持田審査委員、大村審査委員から作品の選評をいただきました。受賞者のみなさんも、撮影の経緯や感想、被写体となった人たちとのエピソードや、裏話なども飛び出し、大いに会場を沸かせました。



入賞作品を手に記念写真



撮影時のようすについて話される受賞者のみなさん



入賞作品を前に写真談義

第10回「ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品

テクニカル部門 入賞作品



最優秀賞 テーマ：水土里あふれる景色
「特産を守る」 秋月 静枝



優秀賞 テーマ：新しい農業・農村のちから
「愛和し」 銅堂 健一



優秀賞 テーマ：水土里あふれる景色
「雪割り」 杉本 洋子

ファミリー部門 (特別賞)



「これ何に？」 倉見 千恵子



「よいしょ！」 秋山 浩三



「雪の中の酪農」 林 誉



「田植時(たうえどき)」
原 恒夫



「私もやりたい！」 増永 高子



「種まき準備出来ました」 小原 敏



「慈愛」 安部 信子



「早乙女さん
(新庄大花田植えにて)」
増成 博志



「地域の絆」 林 誉



「行って来るネ」 林 誉



「葉乾す作業」 小原 敏



「干し柿の里」 勝部 稔



「大地の恵み」 山根 繁夫



「収穫の喜び」 中津 直子



住みやすく豊かな村づくり
みどり
水土里ネットひろしま

季刊 ひろしまの土地改良 第229号

■ 平成24年4月15日
編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館
■ TEL (082) 502-7470 ■ FAX (082) 502-7480
■ <http://www.hdn.or.jp>
■ 印刷：佐々木印刷株式会社